

平成30年度大分市決算に係る健全化判断比率

(単位：%)

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
— (11.25)	— (16.25)	5.3 (25.0)	42.3 (350.0)

備考 1. 表中「—」は、当該比率がない(赤字額がない)ことを示しています

2. 括弧書きは、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく早期健全化基準を示しています

【4つの指標の説明】

- 実質赤字比率 : 福祉、教育、まちづくり等を行う大分市の一般会計等の赤字額の標準財政規模に対する比率
- 連結実質赤字比率 : 全ての会計の赤字や黒字を合算した、大分市全体としての赤字額の標準財政規模に対する比率
- 実質公債費比率 : 地方債やこれに準じる支出額の標準財政規模に対する比率
- 将来負担比率 : 一般会計等の地方債や将来支払っていく負担の残高の標準財政規模に対する比率

※標準財政規模・・・その地方自治体の標準的な状態で通常収入が見込まれる一般財源の規模を示すもの

平成30年度大分市決算に係る資金不足比率

(単位：%)

会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
水道事業会計	—	20.0
公共下水道事業会計	—	20.0
公設地方卸売市場事業特別会計	—	20.0
農業集落排水事業特別会計	—	20.0

備考 1. 表中「—」は、当該比率がない(資金不足額がない)ことを示しています

- 資金不足比率 : 公営企業の赤字額の、料金収入等の収益に相当する事業規模に対する比率